



ほのか診察室

シリーズ
第144話

人間ドック受けていますか？

市民病院 医療技術部
健診・予防医療課 監修

▽市民病院（代表） TEL 22・2171

健康診断と人間ドックの違いをご存知でしょうか。多くの方は健康診断を受けた事があると思いますが、実際に違いを知っている方は少ないかもしれません。

健康診断は自身の健康状態を診断し、病気の兆候がないかを調べます。会社勤めの人であれば、法定健診（定期健康診断）や特定健診（特定健康診査）を定期的に受けている場合が多いです。そうした方は、あえて費用がかかる人間ドックを受診する必要を感じないかもしれません。しかし、同じ健診でも、法定健診（定期健康診断）や特定健診（特定健康診査）と人間ドックには「項目数や検査内容」の面で大きな違いがあります。健康診断より人間ドックの方が圧倒的に検査項目が多く、調べる範囲が広いため、一般的に「健康診断だけではわからない病気の早期発見が目的」と言われています。

それでは、一般的な検査項目の内、健康診断に加えて人間ドックで

行う検査やオプション検査をご紹介します。

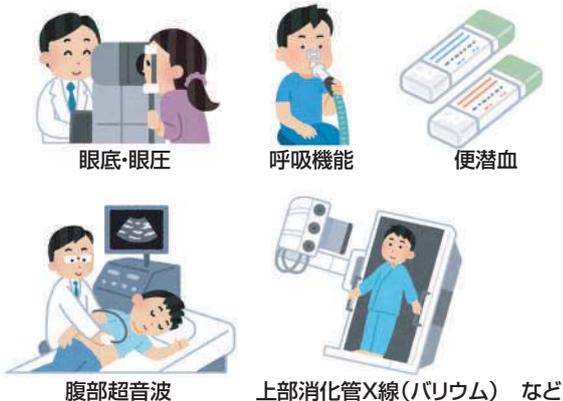
【一般的な追加検査項目】

●血液検査

- ・肝機能検査（総たんぱく、アルブミン、ALP、LDH、総ビリルビンなど）

- ・感染症検査
- ・血清学検査（CRP）

人間ドック 基本検査の項目



- ・内分泌検査（BNP）

●眼底・眼圧

●上部消化管X線（バリウム）検査

●腹部超音波

●呼吸（肺）機能検査

【オプション】

●動脈硬化検査

- ・血液脈波検査、頸部超音波

●内臓脂肪検査・肺がん検診

- ・CT

●骨粗しょう症

- ・DEXA法

●脳ドック

- ・MRI、頸部超音波

●前立腺検査（男性の場合）

●乳がん検査（女性の場合）

- ・マンモグラフィ、乳腺超音波検査

●子宮がん検査（女性の場合）

- ・内診、細胞診

主な項目を紹介しましたが、法定健診や特定健診の内容に加えて、胃カメラやCT、MRIなどの検査項目

目を増やすことができ、女性特有の病気や脳に特化した検査など医療施設によってさまざまなコースが用意されています。自身が気になる箇所をより細かく検査できるため、不安を解消できます。

病気の心配なく、健やかに過ごすためにも、費用はかかりますが、人間ドックの受診を検討してみたいかがでしょうか。

健康なつもりでも…
人間ドックでの健康チェックをおすすめします

